

「活用力」の具体的な実践

【単元計画】

- * 指導事項の系統を意識し、単元を通して「つきたい力」「活用する力」を明確にする
- * 習得と活用を効果的に行き来する課題の準備と単元の展開のあり方を考える

【他教科・他の活動との関連】

- * 「学び」を日常生活に生かす
- * 他教科への関連
- * 反復する活動
 - ・漢字、計算・まとめを書く 等
- * 発表する機会の設定
 - ・学年発表会 音読発表
 - ・「心を育てる環境」づくり

【授業づくり】

* 問題解決的な学習を通して「学び」の意欲化と自覚化を図る授業づくりを実践する。

学習過程	活用を育むための手立て	◎児童	☆教師
つかむ 「学習課題を正しくとらえ自ら追究しようとする子」	☆既習を想起したふり返りの場の設定 ◎学習揭示の活用を意識する ☆学ぶ意欲がもてる、考えたいような課題の設定 ◎既習などをもとに学習の見通しをもつ		
考える 「既習をもとに、自分の考えをもつ子」	◎「考えの表し方のヒント」（教室掲示）を使用する ◎自分の考えをノートなどにわかりやすく書く ◎自分の考えを表現する（言葉・絵・図・式などを使い、根拠を示して理由づけをする）		
深める 「自分の考えを伝え合って、学習できる子」	◎「考えの表し方のヒント」「話型」（教室掲示）を意識して発表や話し合いをする ◎言葉や数、式、図、表、グラフなどを使って説明する ☆効果的なペア・グループ学習の場の設定 ◎全体で友だちと考えの交流をする ☆意見と意見をつなぐ発問の準備 ☆板書の工夫（ネームプレート 4段階学習プレートの利用等）		
まとめる 「学んだことを表現できる子」	◎課題を意識した「まとめ」をする ☆「学び」を意識した「まとめ」 ☆「習得」・「活用」の意識を育てる「学習日記」 ☆「学び」を確かめる表現活動・活用問題		} ノートづくり (学びの自覚化)

「課題」と「まとめ」のつながり

「まとめ」が「次時の意欲・思考」へ

* 「学び合いの姿」「望ましい学習習慣形成」に取り組み、学習に対する心構えを身につける。

【学習環境】

- * 教室環境づくり
 - ・既習内容の掲示により活用する意識を高める
- * 学習コーナー
 - ・子ども達の学んだことを掲示し、考えの共有化を図る

【学習・生活習慣】

- * 「家庭学習のてびき」
 - ・てびきを作成し家庭に配布し家庭学習の習慣化を図る
- * 基本的な生活習慣
 - ・アンケートによる実態調査
 - ・「早起き早ね朝ごはんカレンダー」の取り組みを行う